

SATA ハードディスク x 4
USB インタフェースケース

SATA 4 台はい〜る KIT USB

ユーザーズマニュアル
(NV-HS401U)

株式会社 ノバック

目 次

第1章 はじめにお読みください。	2
1-1 はじめに	2
1-2 取り扱い上のご注意	3
1-3 ソフトウェアの利用規定とマニュアルの注意事項	6
第2章 製品のご紹介	7
2-1 製品の概要	7
2-2 本製品の仕様	7
2-3 本製品の動作環境	8
第3章 パッケージ内容と本体各部の名称について	10
3-1 パッケージ内容	10
3-2 本製品の各部の名称	11
第4章 ハードディスクの組み付けと設定について	12
4-1 ハードディスクの組み付け手順	12
4-2 本製品のモードスイッチの設定	14
4-2-1 コンバインモードとは…。	14
4-2-2 Power コントロールの設定（電源連動機能）	18
第5章 パソコンとの接続とドライバのインストール	19
5-1 Windows 2000Pro / XP / Vista / Server 2003 でのインストール	19
5-2 Mac OS でのご利用の場合	19
第6章 ハードディスクの初期化（フォーマット）	20
6-1 Windows 2000 / XP / Vista / Server 2003 での初期化	20
6-2 Mac OS X での初期化手順	21
第7章 本製品の使い方	22
7-1 準備が終わりましたら…。	22
7-2 基本操作	22
第8章 故障かな？困ったときの FAQ	24
第9章 製品保証とユーザーサポートについて	27

第1章 はじめにお読みください。

第1章 はじめにお読みください。

1-1 はじめに

この度は「SATA HDD 4台はい〜るKIT USB 」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。

本製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。

- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に記載しております。必ず内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

第1章では、本製品をお使いになる上での注意事項、ソフトウェアの利用規定などを記載しています。必ずお読みいただけますようお願いいたします。

第2章では、本製品の概要、仕様、動作環境について記載してあります。

第3章では、本製品の内容物、本体各部の名称について記載しています。

第4章では、ハードディスクの実装方法から本製品の設定、接続の仕方など実際に使う方法について記載してあります。

第5章では、本製品のドライバのインストール手順について記載してあります。

第6章では HDD の初期化に方法について記載してあります。

第7章では、本製品の使い方について記載してあります。








第8章では、よくある質問を記載してあります。

第9章では、製品保証とサポートに関するご案内を記載しています。

1-2 取り扱い上のご注意

■ 本製品を正しく安全にご利用いただくために

- 本書では本製品を正しく安全に使用するために重要な注意事項を説明しています。**必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。**
- 本書は読み終わった後も、**必ずいつでも見られる場所に保管してください。**

 警 告	
 厳守	<p>本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。</p>
 分解禁止	<p>本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。 火災や感電、やけど、故障の原因になります。 修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。分解したり、改造したりした場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。</p>
 プラグを抜く	<p>煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。 ケーブルを抜く際は、ケーブルを持つのではなく、コネクタを持って抜いてください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
 発火注意	<p>本製品を接続する場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルにもものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。 ● 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルからの発煙や、火災の原因となることがあります。
 厳守	<p>電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。 ショート、発熱の原因となり、火災、感電の恐れがあります。 本製品の接続、取り外しの際は、必ず本書で、接続・取り外し方法をご確認ください。 間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。</p>
 水ぬれ厳禁	<p>本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。</p>

第1章 はじめにお読みください。

	ぬれた手で本製品を扱わないでください。 感電や、本製品の故障の原因となります。
--	--

 本製品をご利用いただくに当たっての注意事項	
 タコ足配線禁 止	電源コンセントはなるべく電源コンセントへ直接接続してください。 タコ足配線や何本もの延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
 禁止	本体の周りを 本や物などで覆わないでください。過熱による火災・故障などの原因になります。
 禁止	本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所、高温多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所、強い磁力電波の発生する物の近くでの使用／保管は避けてください。 また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
 禁止	アクセスランプの点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしたりしないでください。故障の原因となったり、データが消失する恐れがあります。また本製品にアクセスしている最中はスタンバイ/休止/スリープなどの省電力モードにしないでください。
 注意	添付部品などには、乳幼児の口に入る小さな部分があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
 注意	本製品につきましては、筐体によって十分なハードディスクの熱を放熱しておりますが、ケース周辺を物で覆ったり、高温の室内環境でのご利用の場合 放熱効果が落ちる場合があります。
 注意	本製品にソフトウェアのインストールを行わないでください。OS起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。

■ 免責事項について

- ※ 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任を負いません。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っていません。
- ※ 本製品を分解や、改造した場合は、製品の保証（無料修理）および、その他のサポートサービスをお引き受け致しかねます。
- ※ 本製品に衝撃を与える、落下させるなど、お客さまの故意・過失による破損または損害の場合には、保証（無料修理）となりません。
- ※ 地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※ 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求について、当社は一切責任を負いません。
- ※ 本製品に付属のマニュアルの記載内容を守らないことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。
- ※ ハードディスクに記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。大切なデータ等は、使用前、使用中は、必ずお客様の責任の下、バックアップされるようお願いいたします。

第1章 はじめにお読みください。

1-3 ソフトウェアの利用規定とマニュアルの注意事項

ソフトウェア保証規定（使用許諾書）

本書は、お客様が本製品（プログラム・マニュアル・その他本製品添付資料を含み、以下「許諾プログラム」といいます）の使用者であることを証明し、かつ弊社との使用許諾契約書に同意いただいた証明として大切に保管してください。

1. 許諾プログラムは、お客様ご自身が所有する単一のコンピュータシステムにおいて、これに読み込み可能な形式にてご使用ください。
2. 許諾プログラムの複写・複製を禁止いたします。
3. 弊社の事前の文書による承諾なくして、第三者に許諾プログラムの貸与もしくはその他の方法で使用させないものとします。
4. 弊社の事前の文書による承諾無くして、許諾プログラムの変更または改造を行なわないものとします。
5. 許諾プログラムをレンタルなどの賃貸業に使用できません。
6. 許諾プログラムの使用に起因して、お客様が被る直接ならびに間接損害に関して、弊社はいかなる責任も負いません。
7. お客様が前記各条項を守っている限り、弊社は許諾プログラムに対し次のサービスをいたします。
 - 1) お客様からの電話または文書によるお問い合わせに対してサポートいたします。
 - 2) 許諾プログラムの媒体（フロッピーディスクなど）の破損事故を起こしたとき、有償で同一の新しい媒体を再提供いたします。
8. 上記1から6のいずれかの条項に違反する行為があったとき、著作権法等関連法令による法律上の制裁をうけることがあります。

本マニュアルでの注意事項

1. 本書の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。
2. 本書内容につきましては万全を期して作成いたしますが、万一誤り、またはお気づきの点がございましたら弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
3. ソフトウェアおよび本書を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※ MS-DOS、Windows は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。

※ Macintosh、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

※ その他、本書に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※ 本書は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。

※ 本書の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

第2章 製品のご紹介

2-1 製品の概要

製品内部に搭載した最大4台のハードディスクを、「コンバインモード機能(※P.14参照)」によりパソコン側から「1つのボリューム」として認識させ、大容量のハードディスク(※)として使用することができます。

また、通常のハードディスクケースと同じように「ノーマルモード機能」で搭載したハードディスクを個々のドライブとして利用することもできる外付けハードディスクユニットケースです。

- ※ 137GB以上のビックドライブ、またはコンバインモードで1ボリューム137GB以上の領域を作成する場合は、Windows 2000 SP-3 / Windows XP SP-1以降が必須となります。
- ※ 本製品でコンバインモードを使用する場合、Windows 2000 Pro SP-3以降 Windows XP SP-1以降および、Windows Vista Home(Basic, Premium)の環境では、OSの制限により1ボリューム当たりの最大容量は、2TBまでとなります。

2-2 本製品の仕様

■ 本体サイズ

135×172×248 mm (突起部を除く)

■ 本体重量

約2.4 Kg (本体のみ。ハードディスクの重量は含みません。)

■ インターフェース

USB 2.0

■ 電源仕様

入力； 100V-240V

出力； +5V 10A / +12V 6.0A (最大122W)

注意) 実装した4台のハードディスクの合計の消費電流が、上記の規格を超える場合は正常に動作しませんのでご注意ください。

■ 使用湿温度範囲

温度 5°C～35°C

湿度 20%～80% (結露なきこと)

2-3 本製品の動作環境

■ 対応機種

USB1.1 または USB2.0 のインターフェース端子を持つ IBM PC/AT 互換機(NEC PC-98NX シリーズを含む)

Apple Macintosh の下記シリーズ (PowerPC 搭載の 2001 年 3 月以降に発売されたモデルのみ対応)

※ PowerMac G4/G5、PowerBookG4、i-Book、e-Mac、Mac mini の各モデル。

※ USB2.0 搭載モデルで使用されることをお奨めします。

※ 詳細については、弊社ホームページをご参照ください。

<注意事項>

※ 次の機種では正常に動作しない可能性があるため、サポート外となります。

東芝製 DynaBook PORTAGE , Satellite シリーズ (K6 CPU 搭載のもの)

IBM 製 Aptiva E シリーズ (AMD K6 CPU 搭載のもの)

SOTEC 製 e-note M260 シリーズ。

※ 本製品を USB1.1 でお使いの場合、HP/COMPAQ 製 PRESARIO 3566 / 3567 / 3576 /3581 / 3590 では、パソコンの BIOS のアップデートが必要です。

※ 全ての環境での動作を保証するものではありません。

※ 特定の機器、ソフトウェアとの相性はサポート外とさせて頂く場合があります。

■ インターフェース

USB2.0/1.1 インターフェース

※ High Speed (USB2.0) での転送を実現するには、パソコン本体のインターフェースが USB2.0 に対応していなければなりません。

■ 対応 OS

Windows 2000 Professional SP-3 以降 / Windows XP SP-1 以降 / Windows Vista /
Windows Server 2003 SP-1 以降

Apple Mac OS X 10.3 以降 (10.3.9 もしくは 10.4 最新版を推奨)

■ 実装できるハードディスク

SATA インターフェースの 3.5 インチハードディスク



本製品は USB バスパワーでの動作はいたしません。必ず付属の電源コードを接続してご利用ください。

第3章 パッケージ内容と本体各部の名称について

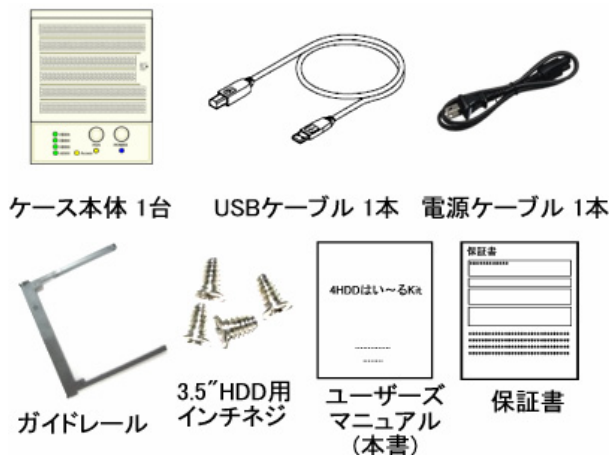
3-1 パッケージ内容

本製品のパッケージを開けたら、内容物の確認をしましょう。

◆ 内容物を確かめましょう

本製品には、以下のものが含まれています。最初にパッケージの中にすべてのものが含まれているかどうかをご確認ください。

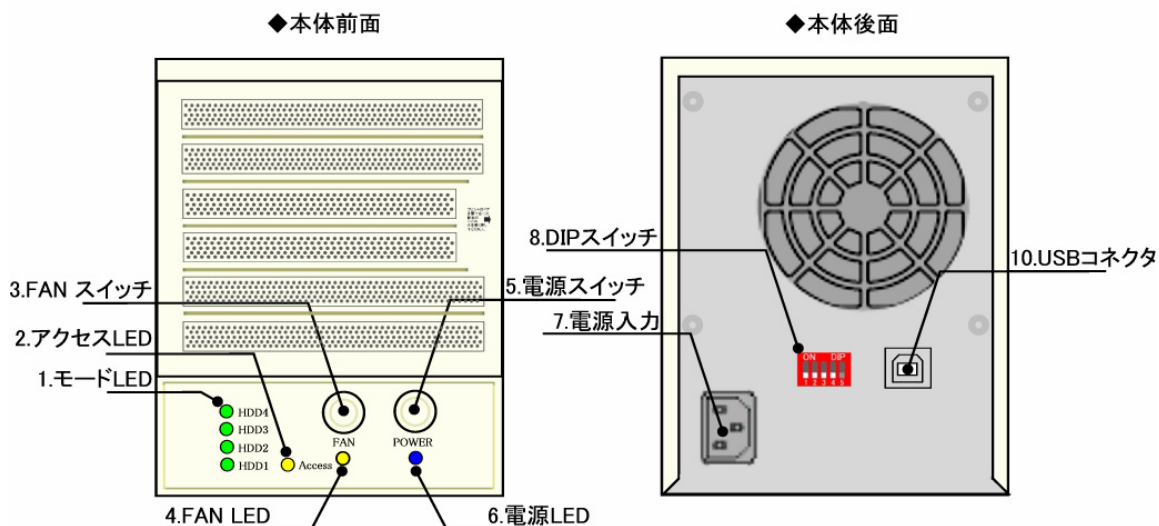
1. 本製品本体 1台
2. USB ケーブル 1本
3. 電源ケーブル 1本 (本製品専用です。)
4. ガイドレール 4本
5. ハードディスク用取り付けネジ
6. 保証書
7. ユーザーズマニュアル(本書)



万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください

3-2 本製品の各部の名称



- ①. **モード LED** : コンバインモードで動作しているハードディスクに該当する LED が点灯します。LED は下から順に HDD1～HDD4 の表示になります。
- ②. **アクセス LED** : 各ハードディスクにアクセス中に点滅します。
- ③. **FAN スイッチ** : FAN の回転の ON/OFF をこのスイッチで切替できます。涼しい所で、お使いで、FAN の音がうるさいと思われるとき、このスイッチで FAN の回転を OFF にしてください。(注:1)
- ④. **FAN LED**: FAN が動作中に点灯します。
- ⑤. **電源スイッチ** : 本製品の電源を ON/OFF します。
※電源連動機能(P.18)が働いている場合は、パソコンの電源と連動します。
- ⑥. **電源 LED** : 本製品に電源が供給されているとき、点灯します。
- ⑦. **電源入力** : 付属の電源ケーブルで家庭用のコンセントと接続します。
- ⑧. **ディップスイッチ** : 本製品のモードの設定ができます。詳細は、[P.14](#) 第4章 4-2 本製品モードスイッチの設定で説明します。
- ⑨. **USB コネクタ** : 付属の USB ケーブルでパソコンの USB 端子と接続します。



注意

(注:1) ご利用いただくハードディスクによっては 発熱性の高いものがございますので、その場合は必ず FAN を動作させてご利用ください。

第4章 ハードディスクの組み付けと設定について

4-1 ハードディスクの組み付け手順



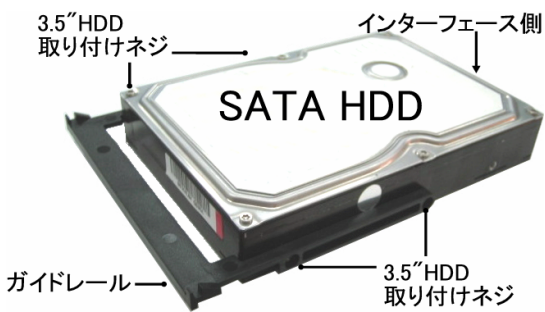

プラグを抜く



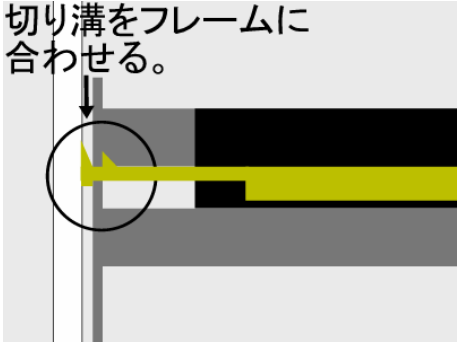

感電や故障、または破損の原因となりますので、本製品へのハードディスクの組み付けや、取り外すなどの作業を行う前に、必ず電源コンセントのプラグは抜いてから作業を行ってください。



注意

ハードディスクを4台実装しない場合、例えば1台だけの場合は、HDD-1へ、2台の時は、HDD-1とHDD-2という具合に、必ずHDD-1から順番に、ハードディスクを取り付けてください。

	<p>1. ハードディスクに“ガイドレール”を、“HDD 取り付けネジ”で取り付けます。</p>
	<p>2. 前面ドア右側にある 凹みの部分を軽く押しながら、ドアを開けます。</p>

	<p><重要></p> <p>ハードディスクの取り付け順については、左図の様に、下から HDD-1、HDD-2、HDD-3、HDD-4 となるように取り付けてください。</p> <p>なお、ハードディスクを 4 台装着しない場合についても、必ず HDD-1 から順に装着してください。例えば 2 台装着の際、HDD-1 と HDD-3 という様な、間を空けての装着はできません。</p>
	<p>3. ハードディスクを本体のレールに沿って装着します。</p> <p>装着する際は、必ず本体の一番下（HDD1）から HDD-1→HDD-2→HDD-3→HDD-4 順にカッチと音がするまで奥まで挿入してください。（下記図参照）</p>
<p>切り溝をフレームに合わせる。</p> 	<p>HDD を取り付けの際は、右図の様に切り溝を金属フレームに合わせて取り付けてください。</p> <p>取り外しの際は、レバーを下げながら引き抜いてください。</p>
	<p>4. HDD の装着取り付けが終わったらケースのドアを閉じ、組み立ては完成です。</p>

4-2 本製品のモードスイッチの設定

ここでは、本製品の背面にあります、「ディップスイッチ」を使って設定できる、モードについて説明します。

「ディップスイッチ」は全部で5ヶあります。

左から、「ディップスイッチ1」「ディップスイッチ2」…「ディップスイッチ5」と呼びます。

このうち「ディップスイッチ1~4」の切り替えによって、搭載したハードディスクの動作モードを「ノーマルモード」と「コンバインモード」に設定することができます。

「ディップスイッチ5」は本製品の「Power コントロール」の切り替えスイッチです。(P.18 参照)

4-2-1 コンバインモードとは…。

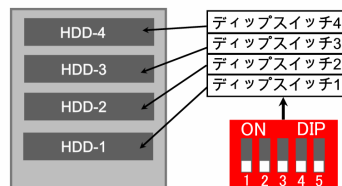
コンバインモードとは、複数のハードディスクをパソコン上で「1つのボリューム」として扱える便利なモードです。

例えば、300GBのハードディスクを4つ実装し、4つともコンバインモードに設定した場合、パソコンからは、1.2TB(300GB x 4)のハードディスクが一つだけ接続されているように見えます。しかし、その反面コンバインモードで動作中のHDDの内、いずれか1台のHDDが破損した場合や、ハードディスクの取り付け位置の変更、交換、「ノーマルモード」へ変更などを行った場合は、記録されたデータの読み取り、抽出等ができなくなるという短所もあります。

本製品では、「4台コンバインモード」「3台コンバインモード」「2台コンバインモード」と「ダブルコンバインモード」、「ノーマルモード」、「2TB以上サポートモード(注1)」の5種類のモードがあります。

それらの設定を「ディップスイッチ1」から「ディップスイッチ4」で行えます。

「ディップスイッチ1」から「ディップスイッチ4」は、本製品に実装したハードディスクの下から順番にその設定を制御しています。



(注意：1) 「2TB以上サポートモード」は、搭載したHDDの総容量が2TBを超える場合で、かつWindows Vista (Home Basic, Home Premiumを除く)、またはWindows Server 2003 SP-1以降のみ利用可能となり、連続して搭載したHDDが強制的にコンバインモードでの動作となります。その他のOSの場合は、OSの制限により2TBまでの認識となります。

1). 4台コンバインモード

ディップスイッチ ; DIP1~DIP4 のすべてを ON

実装した4つのハードディスク (HDD1からHDD4) をすべてまとめて "1つのボリューム" として使えます。パソコン上では、1つのハードディスクとして認識されます。

2). 3台コンバインモード - 2つのモード設定方法があります。

① **ディップスイッチ ; DIP 1~3 ON, DIP 4 OFF**

HDD 1~3 の3つのハードディスクが "1つのボリューム" として使えます。

HDD4 は、ノーマルモード (単独のハードディスク) で動作します。

パソコン上では、2つのハードディスクとして認識されます。

② **ディップスイッチ ; DIP 1 OFF, DIP 2~4 ON**

HDD 2~4 の3つのハードディスクが "1つのボリューム" として使えます。

HDD1 は、ノーマルモード (単独のハードディスク) で動作します。

パソコン上では、2つのハードディスクとして認識されます。

3). 2台コンバインモード — 2つのモード設定方法があります。

① **ディップスイッチ ; DIP 1~2 ON, DIP 3~4 OFF**

HDD 1 と 2 のハードディスクが "1つのボリューム" として使えます。

HDD3 と 4 は、ノーマルモード (単独のハードディスク) で動作します。

パソコン上では、3つのハードディスクとして認識されます。

② **ディップスイッチ ; DIP 1~2 OFF, DIP 3~4 ON**

HDD 3 と 4 のハードディスクが "1つのボリューム" として使えます。

HDD1 と 2 は、ノーマルモード (単独のハードディスク) で動作します。

パソコン上では、3つのハードディスクとして認識されます。

4). ダブルコンバインモード

ディップスイッチ ; DIP 1 ON, DIP 2~4 OFF

HDD 1 と 2 で "1つのボリューム"、さらに HDD3 と 4 も "1つのボリューム" として使えます。

パソコン上では、2つのハードディスクとして認識されます。

第4章 ハードディスクの組み付けと設定について

5). 2TB 以上サポートモード

(このモードは、連続して搭載した HDD の総容量が 2TB を超える場合、Windows Vista (Home Basic, Home Premium を除く) / Windows Server 2003 SP-1 以降の環境のみ利用可能)

ディップスイッチ ; DIP 1~3 OFF, DIP 4 ON

搭載した連続する HDD を強制的に“1つのボリューム”として扱います。

パソコン上では、1つのハードディスクとして認識されます。

2TB 以上サポートモードのコンバインパターン

(○ = HDD を実装した箇所、 NC= HDD が未実装の箇所)

HDD-1	HDD-2	HDD-3	HDD-4	コンバインパターン	認識される台数
○	○	NC	NC	HDD1~2 コンバイン	1
○	○	○	NC	HDD1~3 コンバイン	1
○	○	○	○	HDD1~4 コンバイン	1

注意： この 2TB 以上のコンバインモードは、後にハードディスクを増設した場合、そのまま使用することはできません。ハードディスクを増設する場合は、改めて初期化(再フォーマット)が必要となります。

また、2TB 以上の領域を作成した場合、Windows 2000 Pro / XP / Mac OS との互換性はありませんので、これらの OS では、領域を認識することはできません。

6). ノーマルモード
























ディップスイッチ ; DIP 1~4 のすべてを OFF

HDD 1~4 のすべてのハードディスクが、それぞれ別々のハードディスクとして使えます。

パソコン上では、4つのハードディスクとして認識されます。

◆ 今までの内容を下記にまとめます。

(次ページの注意事項をご確認の上、設定を行ってください。)

	DIP SW の状態	HDD の動作状態	パソコン上で見える HDD の台数 (※注 1)	LED の状態
4台コンバインモード	DIP1~4 ON 	 HDD 1~4 コンバイン	1台	 すべて点灯
3台コンバインモード	DIP1~3 ON DIP4 OFF 	 HDD4 ノーマル HDD 1~3 コンバイン	2台	 1,2,3 点灯
	DIP1 OFF DIP3~4 ON 	 HDD 2~4 コンバイン HDD1	2台	 2,3,4 点灯
2台コンバインモード	DIP1,2 ON DIP3,4 OFF 	 HDD3,4 ノーマル HDD 1~2 コンバイン	3台	 1,2 点灯
	DIP1,2 OFF DIP3,4 ON 	 HDD 3~4 コンバイン HDD1,2 ノーマル	3台	 3,4 点灯
ダブルコンバインモード	DIP1 ON DIP2~4 OFF 	 HDD 3~4 コンバイン HDD 1~2 コンバイン	2台	 すべて点灯
2TB以上サポートモード	DIP1~3 OFF DIP4 ON 	 連続して搭載したHDDが 1ボリューム	1台 (P.17 表参照)	連続して搭載したHDDに応じて、その数が点灯
ノーマルモード	DIP1~4 OFF 	 HDD1,2,3,4 すべて ノーマル	4台	 すべて消灯

「2TB 以上のモード」は、Windows Vista (Home Basic, Home Premium を除く) / Server2003 SP-1 以降のみ利用可能。



注意事項

1. 「パソコン上で見える HDD の数」は、本製品に 4 台のハードディスクを実装した場合の数です。
2. コンバインモードをご利用いただく場合は、ハードディスクの初期化が必須となります。
ハードディスク内にデータがある場合は、すべて消去されますのでご注意ください。
3. コンバインモードで動作する HDD が 1 つだけの場合、その HDD は、ノーマルモードで動作します。例えば、HDD1 と 2 をコンバインモードで動作するように設定した状態で、HDD2 の HDD が実装されていない場合、HDD1 は、ノーマルモードで動作します。
4. コンバインモードで動作している HDD の内の 1 つの HDD が壊れた場合、または HDD の取り付け位置の変更を行った場合、コンバインモードで動いている HDD のデータは、その HDD が正常でも内部のデータは、読めなくなります。
5. コンバインモードで動作している HDD をノーマルモードへ変更する、または ノーマルモードで動作している HDD をコンバインモードへ変更するなどの作業を行った場合は、HDD の初期化（パーティション設定とフォーマット）が必要となり、変更前に保存しておいたデータにつきましては、すべて消去されます。モードを変更される際は、事前に本製品内のデータを消去してもよいことをご確認ください。

4-2-2 Power コントロールの設定（電源連動機能）

「ディップスイッチ 5」を "ON" にすると、“電源連動機能”（※1.2）により、本製品を接続したままの状態でもパソコンの電源を "ON" にするか または、パソコンの電源が "ON" の状態で本製品を接続しますと本製品の電源が入ります。 また、パソコンの電源を切るか、あるいは USB ケーブルを抜くと自動的に本製品の電源も OFF になります。

「ディップスイッチ 5」が OFF の場合は、USB ケーブルやパソコンに関係なく、本製品の電源を ON することで、本製品に電源が供給されます。

いずれの設定でも、本製品に電源が供給されると、電源 LED が点灯します。

ト パ ワ ー コ ン ト ロ ー ル	<p>DIP 5 OFF</p>	電源非連動	<p>DIP 5 ON</p>	電源連動
--	-------------------------	-------	------------------------	------

※ 1:一部の環境では、電源連動機能をご利用いただけない場合があります。(詳しくは、本書の「故障かな? 困ったときの FAQ」を参照ください。)

※ 2: DIP スイッチ設定変更をした場合は、必ず電源スイッチを OFF にするか、電源コンセントを一度抜いてください。

第 5 章 パソコンとの接続とドライバのインストール

本製品をパソコンに接続する方法について説明します。

1. パソコンの電源を入れてください。
 2. 付属の電源ケーブルで本製品の電源入力と家庭用の電源コンセントと接続してください。
 3. 付属の USB ケーブルで、本製品の USB 端子とパソコンの USB 端子を接続してください。
前面の「電源スイッチ」を“ON”にし、本製品に電源を供給してください。
 4. 「電源 LED」が点灯することを確認してください。
- ※ 本製品をはじめてパソコンに接続した際、パソコン上に認識されるまでに約 1~2 分程度かかる場合があります。

5-1 Windows 2000Pro / XP / Vista / Server 2003 でのインストール

Windows 2000Pro / XP / Vista / Server 2003 の場合は、本製品をパソコンとの接続後、自動的に認識されます。

次にハードディスクのフォーマットを行います。第 6 章へ進み該当する部分する部分を参照して、本製品に取り付けたハードディスクの初期化（フォーマット）を行ってください。

※ 注意；

Windows 2000 Pro / XP / Vista / Server 2003 の場合は、「コンピュータ管理者権限」または「Administrator」権限をもつユーザーでログインして本製品をパソコンと接続してください。

5-2 Mac OS でのご利用の場合

「Mac OS 拡張」で初期化されていないハードディスクを取り付けた場合には、まず「ノーマルモード」にした上で接続し、個々のハードディスクの初期化を行ってください（6-3 Mac OS X でのフォーマット手順）。

ハードディスクが初期化されている場合には、自動的にマウントされます。

第6章 ハードディスクの初期化 (フォーマット)

6-1 Windows 2000 / XP / Vista / Server 2003 での初期化

Windows 2000 / XP / Vista / Server 2003 環境でフォーマット(初期化)を行う場合は、各 OS 標準のユーティリティツール「ディスク管理」よりフォーマットを行います。

初期化されていない(未フォーマット)の HDD を搭載した場合や、コンバインモードを使用、または、使用するモードを変更する場合は、必ず初期化を行ってください。

「ディスク管理」を起動するには、管理者権限をもつユーザー(例えば「コンピュータ管理者」や「Administrator」)としてログインした後、「マイコンピュータ」を右クリックし表示されるメニューより、「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されるので、コンソールツリー上で「ディスクの管理」をクリックし、右側の画面に表示される該当するドライブをフォーマットしてください。

なお、「ディスク管理」からのフォーマット方法については、Windows のヘルプファイルを参照いただくか、または 下記弊社 WEB ページに詳しい手順を掲載しておりますので、参照の上行ってください。

- Windows 2000 / XP でのハードディスクの初期化の方法

<http://www.driver.novac.co.jp/driver/faq/format.html>

- Windows Vista でのハードディスクの初期化の方法

http://www.driver.novac.co.jp/driver/faq/format_vista.html

6-2 Mac OS X での初期化手順

「ディスクユーティリティ」を実行し、まず、個々のディスクの初期化を行ってください。この時、「MacOS 拡張」で初期化してください（ジャーナリングの有無はどちらでも可）。

※ ハードディスクを Mac OS と Windows と共有する場合は、1 ボリューム 137GB 以下の容量で、Windows 側で FAT32 形式でフォーマットを行ってください。

※コンバインモードでの初期化

「ディスクユーティリティ」を実行すると、マスター側の HDD に関する情報は表示されますが、スレーブ側の HDD に関する情報は表示されません。

マスター側の HDD を選択し、パーティション設定を選択してください。「現在の設定」状態ではマスター側の HDD 容量のままで、コンバインした容量にはなっていません。「1 パーティション」を選択し、再度、パーティション設定を行ってください。

第7章 本製品の使い方

7-1 準備が終わりましたら…。

ここまでの準備（手順）で本製品がお使いいただける状態になったことと思います。

本製品にハードディスクを取付け、パソコンに正しく接続し認識されると、内蔵のハードディスクと同じ操作方法でデータの読み出しや書き込みが行えます。

万が一まだお使いいただけない状態の場合は、もう一度今までの手順を再度確認してみてください。あわせて [24 ページ](#)の「故障かな？困ったときのFAQ」もご利用ください。

それでも問題が解決しない場合は、ノバックサポートセンターへお問い合わせください（29 ページ参照）。

次に本製品の USB ケーブル抜き差しの方法について説明します。

7-2 基本操作

◆ パソコンへの接続

Windows が正常に起動している時に、USB ケーブルをパソコンに接続するのは自由にできます。

1. パソコンの電源を入れます。
2. 付属の電源ケーブルで本製品の電源入力と家庭用の電源コンセントと接続します。
3. 付属の USB ケーブルで、本製品の USB 端子とパソコンの USB 端子を接続してください。
4. 前面の「電源スイッチ」を押して、本製品に電源を供給してください。

※ 本製品後面の「ディップスイッチ 5」が“ON”のときは、パソコンの OS が起動しないと本製品に電源が入りません。

※ 「ディップスイッチ 5」が “OFF” のときは、パソコンに関係なく、前面の「電源スイッチ」で電源が入ります。

5. 「電源 LED」が点灯し、ドライブが認識されていることを確認してください。

◆パソコンから取り外す



4 台はい～る Kit 内のフォルダを開いていたり、データを作業行っているなどの場合は必ず、それらすべての作業を終了してから、USB ケーブルの取り外し作業を行ってください。

	<ol style="list-style-type: none"> 1. タスクトレイに表示されている、取り外しアイコンをクリックします。 2. 本製品の表示をクリックします。 ※複数の取り外し機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。
<p>Windows XP / Vista の場合</p> <p>Windows 2000 の場合</p>	<ol style="list-style-type: none"> 3. メッセージを確認します。 4. 電源連動機能を使用している場合は、本製品の電源が自動的に OFF になったことを確認して、USB ケーブルを抜きます。 電源連動機能が働かない、または、電源連動機能を使用していない場合は、本製品の電源を OFF にしてから、USB ケーブルを抜いてください。 <p>? こんな時はどうするの…?</p> <p>「取り外しができない。」とメッセージが表示された。</p> <p>すべてのソフトウェアを終了してから、本手順をもう一度行ってください。</p> <p>※ 同様のメッセージが表示される場合は、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。</p>

第8章 故障かな?困ったときのFAQ

- **本製品を接続しても認識されない。または 正しく動作しない。**
 - 電源スイッチの状態、電源コンセントの状態をご確認ください。
 - USB ケーブルの接続に接触不良がないかをご確認ください。
 - 取り付けた各ハードディスクのジャンパーの設定が、正しく設定されていることをご確認ください。
 - HDD の取り付け順に)間違えないかをご確認ください。
 - ドライバのインストールが正しく行われていることをご確認ください。
 - 本製品を USB HUB 経由で接続されている場合は、パソコンの USB ポートに直接、挿してお試してください。
 - ご使用の OS によって使用(認識)できるファイルシステムとパーティション容量に制限があります。
- **Windows 2000 / XP / Vista/ Server 2003 で「ディスク管理」画面が起動できない。**
 - 「ディスク管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータ管理者権限」や「Administrator」)で、ログインしてください。
- **USB 接続しても転送速度が遅い。**
 - USB2.0 のポートが正しく動作しているかをご確認ください。
 - USB1.1 のポートに接続されていないかをご確認ください。
 - USB HUB を介して接続している場合、HUB が USB2.0 対応のものであることをご確認ください。
 - 他の USB 機器が接続されていると転送速度が遅くなる場合があります。他の USB 機器を外してご確認ください。
 - 本製品に添付されている USB ケーブルを使用しているかをご確認ください。
- **特定のソフトウェア（ディスクツールや バックアップソフト）で本製品を使用できない。**
 - 特定のソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ソフトウェアの仕様、取り扱いについては、ソフトウェアメーカー（プリインストールソフトではパソコンメーカーの場合があります）にてご確認ください。

- **本製品を接続したまま、パソコンを起動すると Windows が起動しない。または、起動し始める前に途中で止まってしまう。**

- **電源連動機能が利用できない。**

○ パソコン本体の BIOS セットアップメニューの設定をご確認頂き、「USB Legacy Device」または、「USB Legacy Support」などの設定項目があれば これを「Disable」(無効)に設定してお試しください。

BIOS の設定が変更できない場合、もしくは変更を行っても改善が見られない場合は、お使いのパソコンでの電源連動を使用することはできませんので、お手数をお掛けいたしますが、パソコンの電源を入れ、Windows が起動後本製品の電源を入れてパソコンとの接続を行ってください。

なお、BIOS の起動方法、セットアップメニューにつきましては、パソコンの機種によって異なりますので、パソコンの取扱説明書、または マザーボードの取扱説明書を参考の上おこなってください。

- **認識され表示されたハードディスク容量が、搭載したハードディスクの容量より少なく表示される。**

○ フォーマット後に OS 上で認識される容量は計算方法が異なるので、実際の容量より少なく表示されます。これはハードディスクの容量表示は 1GB=1000MB で計算しておりますが、OS 上での計算は、1GB=1024MB で計算されているためです。

例) 400GB のハードディスクを 3 台コンバインモードで、合計 1.2TB としフォーマットした場合。

ハードディスクの容量	約 1.2TB	約 1,200GB	約 1,200,000MB
OS 上での表示	約 1.09TB	約 1,117GB	約 1,144,409MB

第 8 章 故障かな? 困ったときの FAQ

- **Windows 2000 / XP / Vista / Server 2003 でフォーマットした HDD が Mac OS で認識できない。**

○ ご使用の OS によって使用（認識）できるファイルシステムとパーティション容量に制限があります。以下の表で、接続崎のパソコンにインストールされている OS が本製品のファイルシステムを使用可能かご確認ください。

OS	ファイルシステム			
	NTFS	NTFS (2TB 以上)	FAT32	HFS
Windows 2000Pro	○	×	○※1	×
Windows XP	○	×	○※1	×
Windows Vista	○	○ (Home Basic, Home Plemium を除く)	○※1	×
Windows Server 2003	○	○	○※1	×
Mac OS	×	×	○※2	○

※1 Windows 2000 / XP / Vista / Server 2003 上でフォーマットする場合、OS の制限により 32GB までしか確保できません。(Windows98SE / ME 上でフォーマット済みのものはそのまま認識できます。)

※2 Windows OS と共用して利用する場合は、Windows 側で FAT32 形式、32GB 以内でフォーマットしたものに限り。

第9章 製品保証とユーザーサポートについて

■ ユーザー登録

ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただかないとアフターサービスを受けられない場合がありますので、ご登録手続きを必ずお願いいたします。

便利なオンライン登録をお勧めいたします。

◆ オンラインユーザー登録

<http://www.novac.co.jp/signup/index.html>

■ 製品保証

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。お買い上げ店、ご購入日の記入がない場合は、お買い上げ票（レシート）を必ず一緒に保存してください。
- 保証期間は、使用の有無に関わらず、お買い上げ日より1年間です。

■ アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

調子が悪いときは、まずこの説明書、弊社サポートWEBページ(FAQ)をご覧ください。

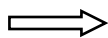
弊社サポートWEBページへは、下記URLよりアクセスできます。

◆ NOVAC サポートページ

<http://www.novac.co.jp/support/index.html>

それでも具合の悪い場合はお問い合わせください

ノバック サポートセンターにご相談ください。



詳しくは29ページをご覧ください。

第9章 製品保証とユーザーサポートについて

■ 製品の修理について

- 保証期間中は、無償にて修理いたします。ただし、保証書に記載している「保証規定」に該当する場合や、中古品、オークション購入品につきましては、有償修理となります。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売を終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

■ 修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を用意ください。

本製品の保証書

ただし、保証期間を終了した場合は必要ありません。

保証期間内であっても保証書の添付が無い場合は 有償修理扱いとなる場合がございます。

● 下記内容を記載したメモ

返送先（住所/氏名/電話番号）

ご連絡先メールアドレス

ご使用環境（パソコンの機器構成、OS）、故障状況（どうなったのか）

● 修理品を梱包してください

上記でご用意いただいた物と一緒に梱包してください。

輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱、梱包材等で梱包してください。

● 修理品依頼について

修理品依頼品につきましては、購入店への持ち込み、または下記送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として、送付いただく際の発送時の費用は初期不良（購入後 1 ヶ月以内）を除き、お客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

※送付の際は、紛失を避けるため、宅配便か、書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒113-0033 東京都文京区本郷 3-38-1 本郷イシワタビル 5F

株式会社 ノバック ユーザーサポート 宛

☎ 03-3817-8711

■ユーザーサポート(お問い合わせ窓口)について

● 本製品ハードウェアおよびマニュアルに対するお問い合わせ

本製品およびマニュアルに対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷3-38-1
本郷イシワタビル5F

株式会社ノバック サポートセンター

サポート専用電話 : (03) 3817-0938

受付時間 : 月曜～金曜(祝祭日、および弊社休業日は除く)
AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00

e-mail : users@novac.co.jp

※ お問い合わせの前に、まずこのマニュアルの [24 ページ](#)「故障かな? 困ったときのFAQ」をもう一度ご覧になってください。また弊社のホームページにアクセスしていただくと、製品の最新情報やFAQなどを掲載しておりますので、ご参照ください。

<http://www.novac.co.jp/support/index.html>

※ お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えてください。

※ 電話がかかりにくい場合は、e-mailでお問い合わせください。

※ e-mailでのお問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせていただきます。

※ e-mailや電話で重複してお問い合わせの場合は、その旨お知らせいただけると助かります。

データ修復サービスのご案内（有償）

「消えてしまった」と思ったデータも、多くの場合、回復できる可能性が残されています。トラブルが発生したら、安全な方法でシステムを止め、すぐに弊社にご連絡ください。お客様の貴重なデータの修復を行います。

詳しくは、下記をご参照ください。

<http://www.novac.co.jp/seisaku/>

<注意事項>

- ※ 本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によっては破壊された場合でも、弊社での一切の保証はいたしかねますので、予めご容赦ください。万が一に備えて重要なデータはあらかじめバックアップをするようお願いいたします。



「SATA 4 台はい〜る KIT USB」 ユーザーズマニュアル

発行日： 第 1 版 2007 年 10 月

発行元： 株式会社ノバック

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-38-1

本郷イシワタビル 5F

HS401U-071001JO
